

# 松阪市子ども支援研究センターだより

松阪市子ども支援研究センター 〈TEL. 26-1900 FAX. 26-1901〉

E-mail: [kyo.div@city.matsusaka.mie.jp](mailto:kyo.div@city.matsusaka.mie.jp) <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」「三雲やまゆりの教室」

〈TEL 26-1900 FAX 26-1901〉 E-mail: [suzunomori@matsusaka.ed.jp](mailto:suzunomori@matsusaka.ed.jp)

## 広がる学び



空が澄み渡り、秋風がさわやかな季節となりました。長く続いた緊急事態宣言が解除され、ようやく通常の学校生活に戻り、各校には全校の子どもたちの元気な姿や笑顔が集い、クラス全員の子どもたちと直にふれあいながら授業ができる喜びを先生方は改めて実感されてみえることと存じます。

さて、9月中は、子どもたちの学びを保障するために、急遽オンライン授業を実施していただき、ありがとうございました。各校におかれましては、きめ細やかな授業計画を立て、様々な工夫を凝らした授業を進めていただきました。タブレットを通して対面授業と同じようにそれぞれの子どもに応じた声かけや見取りをしていただいたり、不登校の子どもたちがオンライン授業に参加できるように配慮していただいたり、先生方の細やかな対応により、子どもたちの学びが広がっていることを感じました。短い準備期間の中で、子どもたちのために学校全体が一丸となり組織的にオンライン授業に取り組んでいただいたことに心から感謝申し上げます。オンライン授業の取組のほんの一例ですが、ご紹介させていただきます。今後も、授業や持ち帰り学習におけるICTの効果的な活用を共に考えさせていただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

### オンライン授業の取組 ～さまざまな工夫が生まれました～

テレビと黒板の役割を創る	板書の工夫する	オンライン授業のルール	背景の指導
 <p>・大型テレビに資料を投影できるようになると、子どもたちは黒板、大型テレビの2つを見て、情報を得る。授業中、残す情報は黒板に、消えてもよい情報はテレビに提示するなどの工夫をしていた。</p>	 <p>・完全オンライン時、カメラを固定してライブ配信を行っている。その際、カメラで映せる範囲(画角)を意識して板書を行っていた。</p>	 <p>例えば、授業の途中で、カメラをオンオフにする、マイクをオンオフにするなどの操作が生じる。オンライン授業に全員が参加できるようにルールの共通理解を図っていた。</p>	 <p>オンライン会議(Teams)では各家庭で活用する際に、背景をうつさないようにすることが大切である。事前に操作体験しながら、情報モラルの学習を行っていた。</p>
授業は2人で行う	ポインタで示す	授業参加確認	持ち帰りの工夫
 <p>・オンライン授業はICT機器を活用する。授業者と参加者の確認をしたり、授業者の機器トラブル対応したりする教員の2人で授業を進めていた。</p>	 <p>・画面を共有して説明する場合、言葉だけではどの部分の説明をしているのかわかりにくい。実際に画面に書き込みをしたり、話している部分をポインタで指し示すことで焦点化させていた。</p>	 <p>・オンライン授業では、授業開始後は参加者の確認を行う。操作トラブルによって参加できていない場合もあることから、タブレットから参加を呼びかけるだけでなく、電話をして確認をしていた。</p>	 <p>・雨天時の登下校時に、タブレットが濡れないように、1人1枚のジップパー付きビニール袋にタブレットを入れて持ち帰っていた。</p>

## 研修講座報告 ～講座の様子をご紹介します！～

本年度の当センター研修講座は 25 講座予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、会場の人数を制限したり、オンラインを活用したりと様々な形態での開催となりました。対面での開催が望ましい講座など一部の講座については、やむなく中止や延期となりましたが、9 月末現在でほとんどの講座を無事に開催することができました。講座の開催にあたり、受講者のみなさんには多大なご協力いただき、ありがとうございました。

### A-4 外国語活動・外国語 小学校と中学校でつなぐ英語指導

—英語好きの児童から英語力のある生徒へ—

講師 阿野幸一先生

「小学校と中学校でつなぐ英語指導—英語好きの児童から英語力のある生徒へ—」という演題で、小学校、中学校でのそれぞれの学習内容を例に、よりスムーズな連携が図れるような手立てを教えてくださいました。



オンライン開催

「小学校で大事にする点、中学校で大事にする点についてよく理解できた。」  
「英語指導には段階があることをかけっこの例やファイルの例で示していただき、とても納得した。」  
「教科書構成の意図や活用法についての解説に目からうろこでした。」

参加者の声

### A-2 算数・数学 主体的・対話的で深い学びを生む算数・数学授業

講師 玉置 崇 先生

「主体的・対話的で深い学びを生む算数・数学授業」と題し、小学校、中学校でのそれぞれ実践事例から、主体的な姿や対話的な姿、そして深い学びの姿を生むためのきめ細やかな教育について、分かりやすく教えてくださいました。



オンライン開催

「エビデンスではなく、エピソードで語る現場であれ」  
「先生が価値づけすることが深い学びを生む」  
「『わからない』といえる文化をつくる」  
「その授業でどんな振り返りがでたら成功なのか、はっきりと答えられる先生であれ」

講師先生の言葉

### B-4 GIGA スクール構想におけるタブレット等を活用した授業づくりのポイント

講師 佐藤 和紀 先生

三重県緊急事態措置を受けて、9月からの分散登校・オンライン学習がスタートすることが決まり、急遽講座の内容をオンライン学習に変更していただき、「オンラインだからできる授業提案を」とエールもいただきました。



オンライン開催

オンライン授業のポイント

- ・「まずはやってみる！」が大事。失敗して当たり前。
- ・板書はいつもより大きめ。
- ・学習内容はいつもの量をやらない。
- ・カメラと送信機能で学習の見取りをする。
- ・手順は具体的に丁寧に。パターン化も大事。

講師先生の言葉